

## 瀋陽駐在員事務所



春節



街中が花火や爆竹

### 中国東北地方の春節

春節は中国の最も大切な伝統的祝日です。2014年の春節は1月31日（正月初一）、1月30日（大晦日）から2月14日（元宵節）が春節期間となります。中国各地方には春節を過ごす伝統的な習慣がいろいろありますが、大晦日の夜、家族みんなが揃って食事をする習慣は同じです。東北地方では、各家庭によってメニューは多少異なりますが、魚料理と鶏肉料理は欠かせないとされます。その理由は、中国語の鶏（ジー）の発音が吉祥の吉（ジー）と同じで、魚（ユー）の発音が、お金が沢山余るような余（ユー）と同じで縁起が良いからです。そして、もうひとつ東北地方の大晦日で、絶対に欠かせない食べ物は餃子です。餃子は大晦日の夜12時前に家族みんなと一緒に作り、年を越す時間に食べます。それは本当の意味の年越し餃子です。餃子の形が「元宝」（中国の昔のお金）のようですから、春節に餃子を食べるのは、富をもたらすという意味があります。また餃子を作る時、いくつかの餡に、なつめ、落花生、硬貨などを入れます。なつめ、落花生、硬貨が入っている餃子を当てた人は、今年一年の幸運（なつめ）、健康運（落花生）、財産運（硬貨）に恵まれます。街中が花火や爆竹で騒がしくなり、子供たちはお爺ちゃん、お婆ちゃんに压岁钱（ヤースイチェーン）（お年玉）を貰います。家族みんな楽しく新年を迎え、一緒に過ごす中国の春節は、これからも中国人にとって最も重要な日であり続けるでしょう。

張 璐

## ユジノサハリンスク駐在員事務所



洗礼日（気温は-18℃）



池で沐浴する人々

### ロシアの1月

お正月を迎えたロシアは段々冬の一番寒い時期に入ります。朝、氷点下 23℃のサハリンは氷点下 55℃のシベリアに比べれば暖かい地域ですが、寒さは身にしみます。

ロシアの1月は祝祭日が多く、冬のスポーツ以外の遊び方が沢山あり、ロシア人は退屈しません。今年の1月は1～8日までが正月休みでした。ロシア正教会が使用するユリウス暦によって、ロシアのクリスマス（降誕祭）は1月7日、そして14日は旧正月（但し休日ではありません）、19日はロシア正教の洗礼祭となっています。この間、若い女性に人気のある遊びが占いです。占いを楽しみながら将来の結婚相手を占いで探します。中でも一番人気は鏡を使う占いです。大きい鏡の前に小さい鏡を持って座り、鏡の中に映る鏡の反映は長い玄関のように見え、その玄関を一生懸命見て行くと、将来ご主人になる人の顔を見ることが出来ると言われています。

19日にはロシア全土でロシア正教による洗礼祭が行われました。今年もガガーリン公園（ゴノサハリンスク）の池には約 3,400 人ものが集まり、氷点下 18℃の気温の中で池に入って沐浴が行われました。水にもぐる事により、1年間溜まった罪を洗い流し、神聖な水で身を清める事で、病気にならないと言われています。当日は警察、救助隊、医者が回りで待機する中、万全の安全管理体制の下で実施されました。

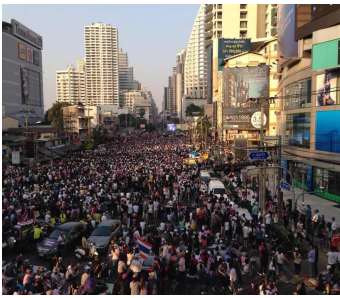
私は今年、勇気が足りなく沐浴には参加出来ませんでした。将来は是非、チャレンジしてみたいと思います。

マリア・ヤロヴェンコ

## カシコン銀行



デモ会場等で販売されているデモグッズ



人で溢れかえっているデモ会場

## バンコク反政府デモについて

タクシン元首相を対象を含む「恩赦法」が下院で可決されたことをきっかけに（同法案は最終的には廃案）、反政府デモが11月頃より始まり、現在に至るまで継続・拡大してきております。選挙で民意を問うとしている政府側と現状の選挙では本当の民主主義とは言えない、と首相の退陣を求める反政府側で妥協点が見つけられず、長期化しております。当初はその影響は軽いものでしたが、徐々に各イベントの中止や観光客の減少、デパート等の売上減少等の経済へも影響が出ております。

今月13日からは反政府勢力による「首都封鎖」が実施され、市内の主要交差点の多くがデモ隊で封鎖されており（夜間はテントで寝泊まり）、車での移動に支障が出る等交通機関にも影響が及んでいます。21日には非常事態宣言が発令される等、日本ではタイで何が起きているのかと不安になるような報道が多い一方で、実際にこちらで生活していると、何かお祭りをやっているかのような錯覚に陥ることがあります。デモ隊に参加している人たちは笛を鳴らし、旗を振って、陽気に行進していますし、封鎖会場では屋台が多く出店し、ミュージシャンや芸能人によるステージが行われております。

笑いながらデモに参加しているかと思えば、突然死傷者を出す事態に発展しているケースもあり、タイ人の持つ陽気さやおおらかさと、気性の激しさを象徴するような状況です。タイに関わる日本人として、一日も早く平和的解決がなされることを願っております。

土屋 裕亮